

最後の学芸会、学習発表会を終えて、各小学校の校長先生、教頭先生、児童会長に話を聞きました。

遠浅小学校 奥本政一校長

最後の学芸会なので、練習から本番までを通して感慨深いものがありました。少しずつ児童たちの成長が見られ、本番では低・中・高学年それぞれ演目の色を出して立派にやり遂げてくれました。児童たちの頑張る姿を見て保護者の方々もご満足したのではないのでしょうか。

森島 新教頭

全校児童が少ないということもあり、一人ひとりの出演が多く児童たちは大変でしたが、練習の成果を発揮し、最後の学芸会を飾るに相応しい内容だったと思います。

ありのままを表現できる児童、普段はあまり話さない児童もいる中で、全員が保護者の前でしっかり表現できていたので良かったです。

児童会長 有本好花さん



遠浅小学校として行う最後の学芸会だったので、悔いの残らないように全力で臨みました。練習では声が小さかったり、音楽でうまくいかなかったことがありましたが、本番では成功できたので良かったです。

残りの数か月は、みんなで楽しく、笑い合えるような学校生活を送りたいと思います。

安平小学校 中島 勉校長

昨年、お呼びすることができなかった地域の方々に学芸会にお招きすることができて良かったです。

小さな学校ならではの全員が輝ける学芸会が今年最後ということもあり、今まで以上に私自身すごく緊張しました。

緊張の中でもしっかりとやり遂げた児童たちの姿に感動をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

草刈 昭斎教頭

どの学年も演目に工夫を加え、歴史・伝統を振り返る内容でした。感謝・感動・協力というテーマのとおりとても良い発表ができていたと思います。普段とは違う児童たちの伸びをみてとても成長を感じました。

児童会長 高田侑摩さん



全プログラムが無事に終わりホッとしました。安平小学校の校舎、全校児童で演技できるのが最後というのもあったので、自分のできることを精一杯やろうという気持ちで臨みました。残りの数か月は、悔いの残らないように楽しい学校生活を送りたいです。

早来小学校 山田耕一校長

「最高のフィナーレを飾れ！」のスローガンのもと、児童や先生たちが共に作り上げて思い出に残るような学習発表会だったと感じています。取り組みの中で、一人ひとりが力をつける成長を感じたので嬉しく思いました。

網代 健男教頭

入場するときの緊張した顔、やり終わったときのホッとした顔を見ると、頑張りが伝わってきました。児童たちは、その一瞬一瞬をやり切り、多くの保護者の方の前でしっかり演技してくれました。何事に対しても一生懸命取り組む姿を見て、私も感動をいただきました。

児童会長 中村佑志郎さん



寂しいという気持ちはなく、楽しく学習発表会を終えることができました。今回の劇は、笑いを取るような役をやったので、会場の皆さんに笑ってもらえるよう演技しました。

残りの数か月は、最高学年としての自覚と責任を持ち、楽しい学校生活を送っていききたいです。